

# はばたきプラン

## なぜ、小中一貫教育が必要なの？

小学校と中学校では違いがあります。例えば・・・

教えて、  
教育長!!



小学校と中学校で変化があるのは当然であり、それを乗り越えることも必要です。



でも・・・

### 中1ギャップ!

学習面や生活面での変化が  
子どもの不安や悩みにつながり、  
変化に対応できない  
子どもたちがいます。

- ・ 学級担任制
- ・ 单元ごとのテスト
- ・ 集団登校
- ・ 高学年から  
自立心の芽生え

- ・ 部活動
- ・ 連絡帳の有無
- ・ 授業の進め方
- ・ 宿題の出し方



- ・ 教科担任制
- ・ 定期試験
- ・ 個人登校
- ・ 自立心が強くなり  
大人への反抗も...

## ■小中一貫教育導入前（平成18年度）の本市の現状

◆教育に関する3つの達成目標検証結果  
(基礎学力の達成度)

項目	市・県	(単位:%)	
		小学校	中学校
読む ・書く	八潮市	82.3	76.9
	埼玉県	83.8	81.7
計算	八潮市	85.2	72.3
	埼玉県	87.9	76.9

◆不登校発生率 (単位:%)

市・県	小学校	中学校
八潮市	0.37	7.63
埼玉県	0.34	3.31

中学生になると不登校の  
生徒が増えていました。

埼玉県と比較すると、学力では小中学校で県平均を下回り、不登校の発生率は県平均を上回っていました。

このような現状から、「学力の向上」と「不登校児童生徒の解消」が本市の課題でした。



子どもたちの不安や悩みを軽減するには、小中学校間の変化（ギャップ）をなだらかにすることが大切です。

そのためには、「今の学年で身に付けなければいけない力を確実に身に付け、次の学年につないでいくこと」が必要です。

八潮市では、小中一貫教育の手法を導入し、小・中学校9年間のつながりを大切にする教育を行っています。



# ??? 「八潮市の小中一貫教育」って ???

「9年間の連続性・系統性を重視した教育」です。

小・中学校の「学び」をつなぎ、義務教育9年間にわたる連続性・系統性を大切にした学習指導、生徒指導等の実施により「学力の向上」と「豊かな心の育成」を目指しています。



小中一貫教育の手法を導入

## 学力の向上

基礎基本の定着を図り、自ら学ぶ力を育成します。

## 豊かな心の育成

異学年交流の充実等を図り、不登校の解消に努めます。

小中一貫教育は、あくまでも手法です。

学校、保護者、地域が一体となり、9年間の見通しを持って次代を担う子どもたちを育てていく必要があります。

### ■独自の教育課程があります。

八潮市では、小学校3年生から「総合的な学習の時間」を「こくさい科」「えらべる科」「ふるさと科」に分け、独自の教育課程を行っています。

(単位:時間)

総合的な学習の時間

### こくさい科

外国語活動に親しみながら、コミュニケーション能力の育成や望ましい人間関係づくりを目的として、小学校3年・4年生で実施しています。



### えらべる科

基礎基本の定着や、活用する力の向上を図るため、習熟度に応じた国語、算数・数学や子どもたちの興味・関心を生かした発展的な学習を行っています。



### ふるさと科

“ふるさと八潮”の学習を地域の方々とのふれあいを通して、各学年の発達段階に応じて行っています。



項目		こくさい科	えらべる科	ふるさと科
小学校	3・4年生	17	18	35
	5・6年生		18	35
中学校	1年生		25	25
	2年生		35 45	25 35
	3年生		35 50	20 35



# I 学力向上の取組!

## 八潮 Basic I・II の活用

八潮 Basic は国語、算数・数学の問題集で、I は基礎・基本問題、II は応用問題が載っています。3, 4 年用、5, 6, 7 (中1) 年用、8 (中2), 9 (中3) 年用があり、子どもたち自身が自分の力に応じて問題を選び、授業や家庭学習などで活用しています。



## 教職員ジョイント研修

小学校の先生は中学校で、中学校の先生は小学校で、授業や掃除への参加など1日生活します。異職種研修で得た体験をもとに、9年間を見通した教育活動の充実を図ります。

## ALT (語学指導助手) の配置

児童生徒の英語力やコミュニケーション能力等の向上を図るため、ALT を配置し、小学校の外国語活動や中学校の英語の授業で「活かした英語」を教えています。

## 「小6春休みの宿題」& 「確認テスト」

小学校の学習内容のまとめとして、市内共通の「小6春休みの宿題」を、小学校を卒業したすべての児童に出しています。進学した中学校に宿題を提出するとともに確認テストを行います。

## 語学指導補助員の配置

中学校に配置し、英語授業の補助として、個に応じたきめ細やかな指導を行っています。

## 教職員合同研修会

夏休みに、中学校ブロックごとに市内すべての教員が集まり、情報交換や小学校の指導を中学校につなげていく方策の検討など、9年間を見通した教育の充実を目指し、話し合いを行っています。

## サマー・ウィンター スクールで学習支援

夏休みや冬休みに各小学校で行われる補習授業に、中学生や地域の方々が学習支援ボランティアとして参加しています。中学生は小学校の先生と協力して、小学生に学習を教えています。



## 少人数指導補助教員の配置

市内小中学校に補助教員を配置しています。補助教員は、主に授業の補助にあたり、担任や担当と協力して、きめ細やかな指導を行っています。

## ジョイスタ (土曜勉強会)

市内の小中学校で土曜日に開催しています。退職した小中学校の教職員や地域の方などが、小3から中1を対象に、授業の復習や学習の支援を行っています。また、中3を対象に国語・数学・英語の公立高校入試対策の授業も行っています。



参加した児童生徒の感想

液体窒素は危険で、すごいことがよくわかった。マシユマロは食べられないと思ったけど、食べられると知ってビックリした。中学生の理科がより一層楽しみになった。

忘れかけていた作図の復習や入試対策、苦手だった関数の問題もわかりやすく教えてくれたので、苦手が少し減りました。少しは数学の問題が解ける自信が出ました。



## 参観のしおり

授業参観などで配布しているもので、今日の授業がどのような内容なのか、が一目でわかるようにまとめています。また、今日の学習につながる学習はどんなものがあるかも一目でわかります。

八潮市立第一中学校 参観のしおり	国語・「やまなし」	八潮市立第二中学校 参観のしおり
今日の学習	今日の授業	今日の学習
今日の授業	今日の学習	今日の授業

## 学習ガイドの活用

学年に応じた学習の準備や家庭学習ができるよう9年生(中3)の姿を目標としたガイド(下敷き)をすべての児童生徒に配付し、実践しています。

# II 豊かな心の育成の取組!

## 八潮市ジョイント教室

小学校6年生の中学校への不安解消と教職員の小中相互理解を深めるために、中学校教員による授業や中学生との交流活動等、入学説明会を兼ねて実施しています。



## 不登校特別対策協議会

不登校の解消のため、学校・家庭・地域・関係諸機関と連携し、学校訪問や親の集い等、不登校の未然防止・早期対応への取組を行っています。

学力の向上と豊かな心を育成するため、「できることから創(はじ)める」をキーワードに、様々な取組をしています。



## ノーDAYの実施

携帯電話やテレビ、ゲームをしない日を設定し、読書や家庭の団欒の時間を生み出し、家庭の絆を育みます。毎年11月3日を市内統一の日とし、実施しています。

## 教育相談所

専門の相談員や臨床心理士が子どもたちや保護者の相談に応じています。様々な理由から学校へ通うことができない子どもたちに対し、相談所内にある「フレンドスクール」で学校復帰に向けた支援を行っています。

## 生活ガイドの活用

あいさつや、けじめのある生活ができるよう、9年生(中3)の姿を目標としたガイド(下敷き)をすべての児童生徒に配付し、実践しています。

## 自立支援教室

集団生活である学校生活に、なかなか適應できない子どもたちに対し、指導員やカウンセラーが落ち着いた環境の中で、個別指導を行い、学校復帰を目指していきます。

## さわやか相談員

市内全ての中学校にさわやか相談員を配置し、子どもたちや保護者の不安や悩みなどの相談に応じています。



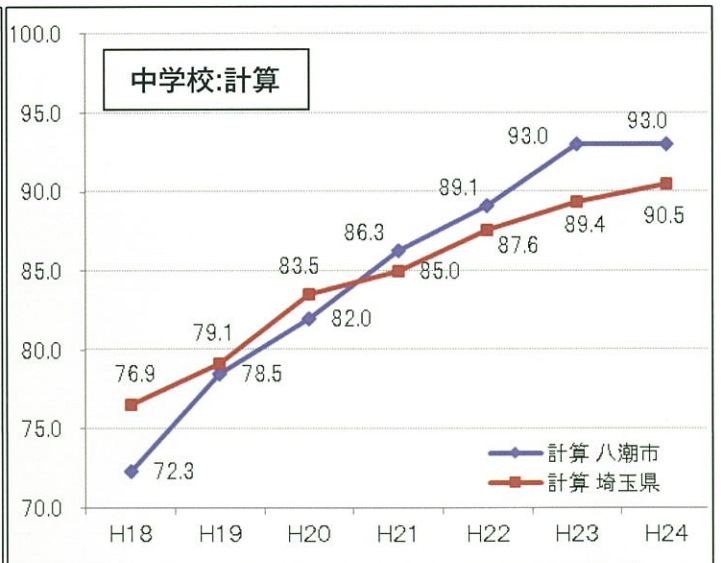
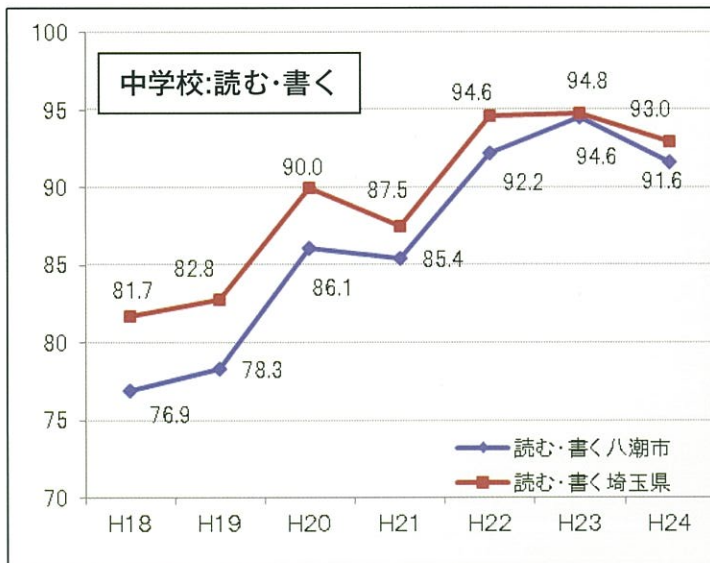
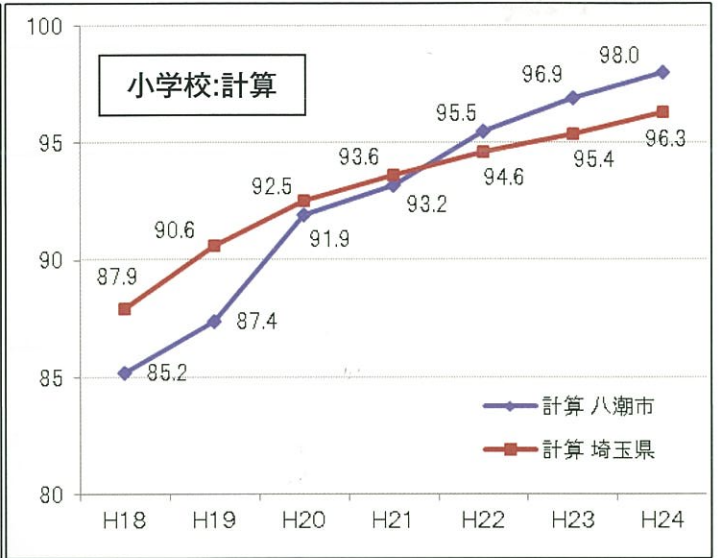
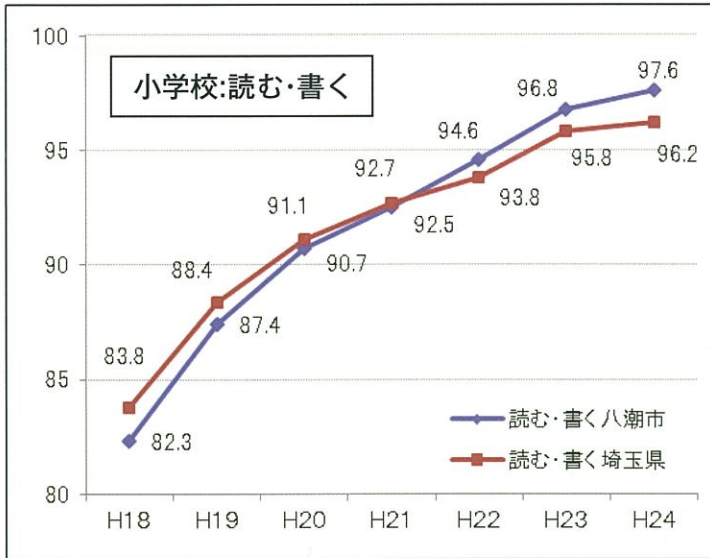


# 八潮の子どもたちは、がんばっています。



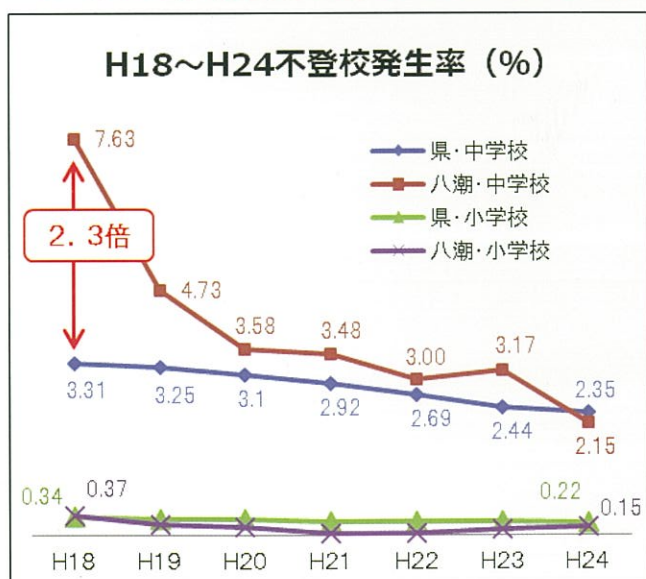
## ●基礎学力が向上しています。

埼玉県「教育に関する3つの達成目標」効果の検証結果(学力)より  
(単位:%)



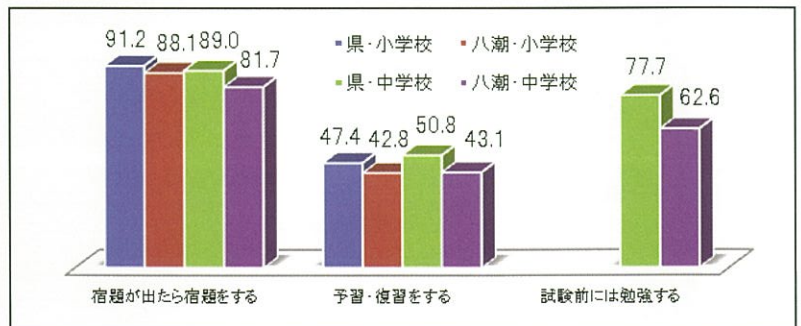
## ●不登校数が減っています。

## ▼課題もあります。



平成25年度埼玉県学力・学習状況調査

### 「家庭でしている勉強は、次のうちどれですか？」



「家庭学習の定着」が大きな課題です。「自分で課題を決めて学習する」「(試験などの) 目標に向かって学習する」など、学校だけでなく、家庭での「声かけ」「励まし」「見届け」が大切です。家庭学習を定着させましょう！



# 「施設分離型」で小中一貫教育を推進しています。

市内小中学校を、中学校を中心とした5つの研究ブロックに分け、「施設分離型」の小中一貫教育を推進しています。

学区の関係で、研究ブロックと進学先の中学校が違いますが、ジョイント教室や部活動体験、中学校教員による授業などを通して中学校生活を知ることにより、進学への不安が軽減されます。



▲3校合同PTAソフトバレーボール

H24年度  
研究発表会  
実施

八條中学校  
八條小学校  
八條北小学校

## 八幡中ブロック 学習における共通事項

- 1 「日付け」「めあて」「めあてに対するまとめ」は必ず記入する。
- 2 学年ごとのノートのめあてを決める。
- 3 教材研究を深め、板書計画を練る。
- 4 ノートをそろえる。
- 5 色分けをする。(赤・青等)
- 6 ていねいに書く。(下書き使用・鉛筆の持ち方指導)
- 7 よいノートを見合い、高める。(掲示等)
- 8 ノートの見直しを行う。

### 【ノートのめあて(例)】

- 1・2年生 マスの中にいないに書く。
- 3・4年生 大事なところはしるしをつけて、ていねいに書く。
- 5・6・7年生 板書の他にも自分の考えや、大切なことを書き留めよう。

八幡中学校  
八幡小学校  
柳之宮小学校

H28年度  
研究発表会  
実施予定

▼生徒会役員が児童集会に参加



大原中学校  
大曾根小学校  
大原小学校

H27年度  
研究発表会  
実施予定

各ブロックで特色ある取組をしています。  
今後も3ブロックで研究発表会を予定しておりますので、ぜひ、子どもたちの姿をご覧ください。



### 八幡中ブロック 生活のきまり

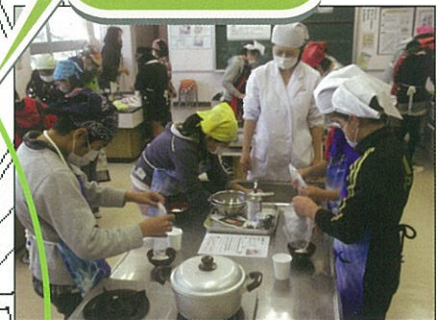
<b>時間</b> ○ 次の時間の用意を してから休み時間にしましょう。 ○ チャイム(授業)の前に 着席をしましょう。	<b>そうじ</b> ○ 時間いっぱい そうじをしましょう。 ○ 遅くしないで そうじをしましょう。
<b>言葉づかい</b> ○ 前と席に座じた言葉や、 敬語を使いましょう。 ○ 「ありがとうございます」「すみま せん」「ごめんください」「失礼しま す」をしっかりと使いましょ。	<b>あいさつ</b> ○ 顔から笑顔で あいさつをしましょう。 ○ 相手の目を見て あいさつをしましょう。

八潮中学校  
潮止小学校  
松之木小学校

H25年度  
研究発表会  
実施

H26年度  
研究発表会  
実施予定

潮止中学校  
中川小学校  
大瀬小学校



▲中学校教員による出前授業 (5年家庭科)

問  
い  
合  
わ  
せ

埼玉県八潮市中央一丁目2番地5 電話048-996-2111(内線398)  
八潮市教育委員会 学校教育部 小中一貫教育推進室